



卓球バレー強豪と交流

南山城支援学校高等部

京田辺の聴覚障害者チームと

京田辺キララのメンバーらと卓球バレーを楽しむ生徒(精華町山田・南山城支援学校)

辺市の障害者卓球バレーチーム「京田辺キララ」のメンバーらと同校で対戦し、交流を深めた。

卓球バレーは、1チーム6人が卓球台の周りに椅子に座り、板状のラケットでピンポン球を転がして相手コートに3打以内で返すスポーツ。

聴覚障害者らでつくる京田辺キララは、全国大会で準優勝したこともある強豪。生徒らは、ラケットの打ち方のコツや、球を通されないように板で壁を作ることなどを教わり、ラリーや試合を楽しんだ。

2年平岡里涉さん(17)は「強すぎてかなわないけど、いろいろ教えてもらえてうれしい。手話をもっと覚えたい」と話していた。

南山城支援学校(精華町山田)の高等部の生徒10人が28日、京田

(大竹逸朗)